

おかやま健康づくりアワード2019(表彰)

日時:令和元年9月22(日) 13:30 ~ 16:00

場所:岡山県医師会館 三木記念ホール

○ 職場部門(五十音順)

応募11社

	会社名	授賞理由
1	一般財団法人淳風会 淳風会健康管理センター (岡山市 医療・福祉 従業員数330人)	・敷地内全面禁煙であり禁煙外来受診時の費用補助を行っており、社員の喫煙率は1.5%である。 ・歯科受診の費用負担を行っており、対象は職員家族も含まれる。予防、治療問わず勤務時間内での受診を認めている。
2	株式会社両備システムズ (岡山市 情報処理サービス業 従業員数790人)	・30歳未満を対象とした健康セミナーの実施や、30歳以上のリスクのある従業員に対する保健師による指導を実施している。 ・建物内禁煙にしており、月1回の禁煙デーや、禁煙コンテストの実施、禁煙外来の受診費用やニコチン製剤購入代金の費用補助などの喫煙対策をしている。
3	第一生命保険株式会社岡山支社 (岡山市 金融・保険業 従業員数712人)	・月3回禁煙デーを実施し、スマホによる禁煙プログラムの実施、禁煙外来費用を全額補助しているため、禁煙成功者が増加した。 ・定期健康診断受診率100%で、二次検診対象者は減少傾向にある。胃がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がんは検診無料としている。
4	ナガオ株式会社 (岡山市 製造業 従業員数64人)	・徒歩や自転車での通勤環境の整備を図っており、ソフトボールやマラソンなどのクラブ活動費は会社支給している。 ・セルフチェックシステム導入で従業員の意識向上を図り、ワークライフバランスの徹底を図っている。
5	両備ホールディングス株式会社 (岡山市 運輸業 従業員数約2,500人)	・ウォーキング奨励のため、5人1組で1日5,000歩か10,000歩を目標とするキャンペーンを実施している。 ・社内健康調査アンケートを基に、部署ごとの健康課題を見つけ、改善目標を決めて1年間取り組み、検証することで健康意識を高めている。

○ 地域部門(五十音順)

応募18団体

	団体名	授賞理由
1	倉敷市愛育委員会連合会 会長:佐藤 千津子	・長年にわたり、あらゆる世代の方を対象に訪問や声かけを実践して健康な地域づくりに貢献した実績を活かし、平成30年7月豪雨災害では、2ヶ月にわたり毎日ボランティアセンターへ委員を派遣するとともに、避難所での活動では関係団体との繋がりを活かしてニーズにあった活動を展開した。
2	倉敷市栄養改善協議会 会長:兒山 和子	・若い世代や男性への食育に取り組むとともに、オーラルフレイル予防の普及啓発も積極的に実施している。平成30年7月豪雨災害では、偏りがちな避難所の食生活を改善するよう工夫をした炊き出しをしたり、被災者と一緒に調理実習を行うことで被災者のこころのケアにも寄与した。
3	健康市民おかやま21東区地域推進会議 会長:宇治 秀樹	・岡山市東区全体・各地域で健康づくりのイベント等を開催し、食生活改善に関する取り組みやOKAYAMA!市民体操の普及啓発、がん検診、健診のPRや乳がんのセルフチェックの実施、むし歯のなりやすさチェック、咀嚼力判定ガムやフッ素洗口の体験を通して、子どもの頃から健康に興味を持つよう活動している。
4	真庭市食育・健康づくり実行委員会 委員長:吉田 伸生	・真庭市民に運動の楽しさ、大切さを伝え、健康意識の醸成を図るため、真庭版ラジオ体操を制作し、普及を図ることにより、楽しく仲間が出来たと地域の様々なところで、健康づくりに活用されている。
5	南地域健康市民おかやま21推進団体 「いきいき南グループ」 会長:常國 紘平	・南グループ主催のイベントで様々な分野の健康づくりに取り組んでいる。地域住民が社会参加しやすい環境づくりの一環としてSNSを活用した情報提供や、声かけが活発になるような仕組みとして情報かわら版の作成などに取り組んでいる。